

第3回利根川河口堰魚道改築懇談会を開催しました

平成16年2月18日(水)、利根川河口堰管理所は、茨城県神栖町内のホテルにおいて「第3回利根川河口堰魚道改築懇談会」を開催しました。

「利根川河口堰魚道改築懇談会」は、利根川河口部における望ましい魚道整備のあり方について、学識者、河川管理者、水産行政及び水産関係者による意見交換を行い、魚道改築の基本構想をまとめることを懇談会の目的としており、今回の第3回が最終回となります。

これまでの懇談会では、

第1回懇談会(平成15年9月17日)においては、それまでの魚道に関する調査の結果や、現魚道が有している課題について議論されました。

それを受け、第2回懇談会(平成15年11月26日)においては、和田委員から全国の魚道に関する講話をいただき、その中で様々な事例を分かりやすく示していただきました。併せて、それを踏まえて、どのような基本方針で魚道改築を実施していくかについて議論されました。

そして、今回の懇談会では、事務局より次の魚道改築基本構想案が示され、了解されました。

- (1) 既存の呼び水式魚道を有効に活用し、これを改築する。改築にあたっては、呼び水機能の向上のため、呼び水水路を開水路構造とするとともに、魚道内の流況安定のため、隔壁の形状等に配慮し、また隔壁が側面、底面の壁と一体となって上下動する構造を盛り込むなど、現在よりもより遡上しやすい呼び水式魚道に改良していく。
- (2) 泳ぐ力の小さい底生魚や甲殻類を含めた多様な魚種が利用可能な魚道として、長良川河口堰の「せせらぎ魚道」のような、緩い勾配で、瀬と淵を有し、流れを蛇行させた小川のような魚道を新設する。
- (3) カワウやサギなどの鳥類による捕食を抑制するような工夫を各魚道に施す。

また、今後の取り組みとして、魚道改築に係る予算要求を平成16年度において行う予定であることを事務局より説明し、了解されました。

利根川河口堰魚道改築懇談会 委員名簿（敬称略）

氏名	所属	備考
椎貝 博美	(社)日本河川協会会長	河川工学
和田 吉弘	中部学院大学短期大学部 副学長	動物生理生態学
糠谷 隆	千葉県立大利根博物館学芸課長	河川環境(魚類)
川名 順之	千葉県農林水産部水産局漁業資源課主幹 兼 栽培推進室長	水産行政
別井 一栄	茨城県農林水産部漁政課技佐	水産行政
福富 則夫	栃木県農務部生産振興課主幹	水産行政
深山 正巳	内水面15号漁協組合代表 手賀沼漁業協同組合代表理事組合長	水産関係者
斎藤 邦彦	笹川漁業協同組合代表理事組合長	千葉県水産関係者
椿 長雄	印旛沼漁業協同組合代表理事組合長	千葉県水産関係者
滑川 幸男	中利根漁業協同組合代表理事組合長	千葉県水産関係者
小沼 洋司	茨城県内水面漁業協同組合連合会専務理事	水産関係者
田代 行男	常陸川漁業協同組合代表理事組合長	茨城県水産関係者
加藤 宏典	栃木県漁業協同組合連合会理事	栃木県水産関係者
横山 茂	栃木県下都賀漁業協同組合代表理事組合長	栃木県水産関係者
池田 隆	国土交通省利根川下流河川事務所長	河川管理者
泉田 武宏	水資源機構利根川河口堰管理所長	(事務局)

：委員長



当日の資料については、利根川河口堰管理所で閲覧ができます。

問い合わせ先
独立行政法人 水資源機構
利根川河口堰管理所

(TEL) 0478-86-0477
(FAX) 0478-86-3457